3 姥ヶ嶽神社 Ubagadake Shrine

創建年1776年。平(びら)の権現(ごんげん)さまで親しまれています。1987年、現在の姥ケ嶽(うばがだけ)神社に昇格しました。この神社には5柱の御祭神が祀られています。九平(ここのびら)登山口から約20分。

姥ケ嶽神社

This shrine was established in 1776 and is known locally as Birano Gongen Sama.
In 1987, the shrine's stature was raised and is now known formally across Japan as Ubagadake Shrine. Five Shinto Gods are enshrined here. It's about 20 minutes from the starting point for climbing Kokonobira.

宮司:戸髙 憲二
連絡先 090-4350-7529

4 花切山・赤松展望所 Hanakiriyama (Mt. Hanakiri) and Akamatsu Lookout

あかご淵から約2時間45分にある花切(はなきり)山は標高669mで新九州百名山の山。北側の斟鉢(くんぱち)山と合わせて「徳蘇(とくそ)山系」ともよばれています。花切山から展望の良い尾根を北東に約80分進むと、標高565mの赤松(あかまつ)展望所があります。

赤松展望所

※現在、加江田渓谷遊歩道の一部が通行できないため、平成登山道・あかご淵からは通行できません。

Hanakiriyama is located about 2 hours and 45 minutes from Akago Fuchi. This mountain with an elevation of 669 meters is one of 100 famous mountains in the Kyushu region and is also known as the "Tokuso Mountain System," together with Kunpachiyama (Mt. Kunpachi) on the north side. Walking northeast from Hanakiriyama about 80 minutes along the spectacular ridge line view, you will arrive at the Akamatsu Lookout at an elevation of 565 meters.
●Currently, the Kaeda Keikoku walking trail is partially blocked and entry on to the trail is not allowed from the Heisei Mountain Trail or Akago Fuchi.

5 椿山森林公園 Tsubakiyama Forest Park

宮崎市の花木「つばき」が約1,000種、約48,000本植栽されており、毎年1月～3月にかけて、見事な花を見ることができます。国際優秀椿園にも選ばれている日本有数の椿園です。「つばき」の他にアジサイ,彼岸花,キバナノホトトギス、秋にはイロハモミジやケヤキなども楽しむことができます。

椿山森林公園

The "camellia" is the flower of Miyazaki city. Approximately, 48,000 camellia trees of 1,000 variations have been planted. They reach full bloom from January to March every year.
This is one of the most famous camellia parks in Japan and has been selected as an International Camellia Garden of Excellence. In addition to "camellias," you can enjoy flowers such as Ajisai(hydrangea) and Higanbana (red spider lily) and Kibananohototogisu (a wild flower; Tricyrtis flava Maxim) as well as red and yellow leaves in autumn such as iroha momiji (palmate maple) and keyaki (zelkova serrata).

ご注意ください Caution

1. 遭難や滑落による救助要請が増えています。
入山する際は、万全な服装と十分な装備を整え、登山ルートや日没時間など十分確認した上で、「無理のない行動」でお願いします。

Callings for help due to getting lost or sliding down are increasing.
When you climb, you should put on suitable clothes and equipment, and check trails and sunset time.
In addition you should take care of safe behavior.

2. マダニ・ヘビ・ハチにご注意ください。野外活動では、腕・足・首など肌の露出を少なくしましょう!

Watch out for ticks, snakes and bees. While outdoors, do not expose your skin such as the arms, legs or neck to the extent possible.

1 磐窟神社、空池、第2展望所 Iwaya Shrine, Kara Ike and the Second Lookout

塩鶴(しおづる)、小谷(こたに)登山口から約30分。磐窟(いわや)神社(針の耳(はりのみみ)神社)は、天狗岩(てんぐいわ)を背負って立ち、耳の難病を癒すといわれ、信仰されています。そこから約20m進むと、四方を大岩に囲まれたくぼ地があり、空池(からいけ)と呼ばれています。山頂方向にさらに約20分登った第2展望所からは、天気が良い日には宮崎市街を一望することができます。

天狗岩

空池

About 30 minutes from the starting points for climbing either Shiozuru or Kotani. Iwaya Shrine (Harino Mimi Shrine) is located behind Tengu Iwa (Tengu Rock) and believed to heal ear diseases. Walking a distance of about 20 meters from there, you will find a recessed area surrounded by large rocks in all directions. This area is called Kara Ike (Empty Pond). Walking further to the mountaintop for about 20 minutes, you will arrive at the Second Lookout. From there, enjoy a panoramic view of Miyazaki city on a fine day.

2 避難小屋、双石山頂 Mountain Cabin and Boroishi Sancho (Boroishi Mountaintop)

第2展望所から尾根伝いに南西方向に約20分進むと避難小屋があります。そこから約25分進むと標高509mの双石山頂(ぼろいしさんちょう)があります。

避難小屋

Walking about 20 minutes southeast along the ridge line from the Second Lookout, you will arrive at the mountain cabin. After about a 25 minute walk from there, you will arrive at Boroishi Mountaintop at an elevation of 509 meters.

双石山頂

6 加江田渓谷みどころガイド

宮崎市南部に位置する宮崎自然休養林は、宮崎市の中心地から南に約16kmの距離にあり、古くから登山やウオーキングなどの森林レクリエーションの場として宮崎市民をはじめ県内外の人に広く利用されています。公共交通機関でのアクセスが困難なため、自家用車等の利用が便利です。

【自然休養林までのアクセス】

● 公共交通機関の場合
・JR木花駅(徒歩5分)→Aコープ木花店(木花巡回バス12分)
→宮崎自然休養林　双石山登山口
・JR木花駅(徒歩5分)→Aコープ木花店(木花巡回バス9分)
→宮崎自然休養林　加江田渓谷

● 車の場合
・JR宮崎駅→宮崎自然休養林　加江田渓谷(約15km、約36分)
・宮崎空港→宮崎自然休養林　加江田渓谷(約14km、約30分)
・JR木花駅→宮崎自然休養林　加江田渓谷(約6km、約17分)

宮崎自然休養林の保護・保存

昭和40年、現在の自然休養林一帯(国有林)と私有林との土地交換の話がありました。双石山の近くに生まれ育ち、当時県議の川越石男翁は、この貴重な自然の保護を訴え、地元住民らと一体となり、交換を阻止するための運動を先頭に立って行いました。

その結果、昭和45年に林野庁は自然休養林に設定し、昭和46年には「宮崎自然休養林保護管理協議会」が創設されました。川越翁は亡くなるまでの30年近くを協議会会長として、自然休養林の保護や管理などの活動を行いました。自然休養林入口の公園には川越翁の功績を称えた顕彰碑が建立されています。

～　みどりなる　山の自然は　ありがたきかな　～

お問い合わせ

宮崎自然休養林保護管理協議会
(宮崎市農政部森林水産課内)
TEL 0985-21-1919　FAX 0985-31-2855

林野庁 九州森林管理局 宮崎森林管理署
TEL 0985-29-2311　FAX 0985-29-2314

出会えるかな？ 宮崎自然休養林の 動植物

動物

ヤマネ
体長約7.5cm、尾の長さが約5cmで背は淡かっ色、黒いすじが縦に入っている。
キュウシュウムササビ、イノシシ

ヤマネ

鳥類

コシジロヤマドリ、キジ、アオゲラ
アカショウビン

コシジロヤマドリ

植物

キバナノホトトギス【ゆり科の多年性草本】
ヒュウガギボウシ【ゆり科の多年性草本】

キバナノホトトギス

その他主な植物

アツバニガナ【きく科】
モミジコウモリ【きく科】
ホソバコンギク【きく科】
バイカアマチャ【ゆきのした科】(なたはじき)
タニワタリノキ【あかね科】(めぐりぼうのき)
シダ類
シイ、カシ

バイカアマチャ

宮崎自然休養林

宮崎自然休養林(1,444ha)は、双石(ぼろいし)山系及び徳蘇(とくそ)山系と両山系に挟まれた加江田渓谷からなるシイ類、カシ類、タブ等の常緑広葉樹を主体とする天然林等で構成され、森林浴、登山等の森林レクリエーションや余暇活動の場として、県内外の多くの方々に親しまれ利用されています。また、「日本美しの森～お薦め国有林～」にも選定されています。

双石山

標高509mの双石(ぼろいし)山はシイ、カシを主とする64haの天然広葉樹林が学術的にも貴重なものとされ、昭和44年8月に文化財保護法に基づく国の史跡名勝天然記念物として指定されました。地質的には、砂岩や礫岩(れきがん)からなる山で、特に礫岩が多く奇岩がそびえ立ち、訪れる人をびっくりさせます。

加江田渓谷

約9km続く渓谷には水の浸食によってできた千差万別の奇岩が点在し自然美にあふれています。この渓谷の風景が欧州のライン渓谷に似て美しいことから「日向ライン」と呼ばれ親しまれていましたが現在は、「加江田(かえだ)渓谷」として定着しています。この美しい渓谷にはいくつもの伝承民話が残っています。

2024.2.1 現在

MIYAZAKI NATURAL RECREATION FOREST

宮崎自然休養林
AREA GUIDE